

牛窓しおまち唐琴通りの保存と活性化プロジェクト

総合情報学部建築学科 松下大輔・緒方清隆

Keywords: 古民家、空き家、コミュニティ再生、改修工事、瀬戸内市、関町

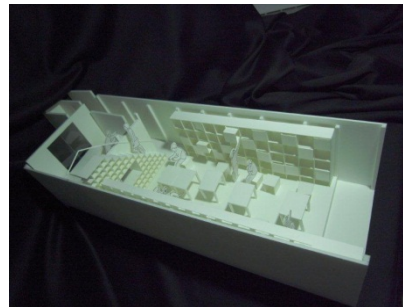
概要

牛窓には古い民家が数多く残されているが、過疎化により空き家となったまま傷み始めているものも多い。「しおまち唐琴通り」の既存の地域のコミュニティハウスが使用できなくなることになり、これに代わる地域住人の集い・憩いの場が必要となった。ある空き家の所有者から、その古民家をコミュニティハウスに改修し、使用して良いとの了解を得た。地元の「牛窓しおまち唐琴通りの保存と活性化プロジェクト」を主体に、岡山理科大学がデザインの提案を行った。瀬戸内市の助成を受け、地元の工務店とともに建築学科の学生がボランティアで工事の補助を行った。

改修案

- ・ 地面は、敷地奥から通りに向かって傾斜しているため、足場板などを利用して床を張る。
- ・ 桁行き方向の壁沿いに格子状の棚を設け、構造補強の役割も持たせる。
- ・ 棚は、壁との間に照明を設置し、地域の資料の書棚、小箱ショップ、展示等に用いる。
- ・ 各辺 40cm の立方体のイスは、棚の格子に収納することができるので、人数に合わせた柔軟な席配置ができる。
- ・ 郷土料理研究のための厨房を設ける。カウンター越しに食器の受け渡しができる。
- ・ 厨房設備は、中古品を用いる。

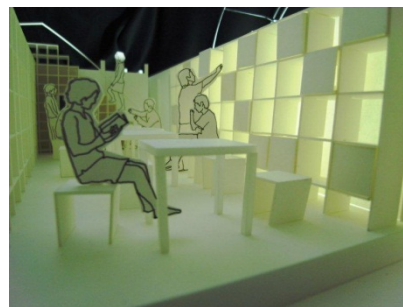
- ・ 上下水道、電気工事は、専門業者が施工する。
- ・ 改修は最小限に留め、できる限り多目的に、柔軟に使用できる計画とする。



改修案模型写真



格子棚点灯前



格子棚点灯後

参考：山陽新聞「牛窓で空き家を交流拠点に 20日仮オープンへ着々」

http://www.sanyo.oni.co.jp/news_s/news/d/2010101511062729/